

# 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19 年 2 月 2 日

上場会社名 **株式会社 電響社**

(コード番号：8144 大証第 2 部)

(URL <http://www.denkyosha.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 藤野 博  
責任者役職・氏名 取締役経理部長 辻 正秀

T E L . (06) 6644-6711

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : (有)・無  
(内容) 原則として中間連結財務諸表に準拠し、一部簡便の処理を採用して四半期財務情報を作成しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : (有)・無  
(内容) 平成 18 年 4 月 1 日より大和無線電器株式会社が連結子会社となりました。

## 2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	26,511	46.7	406	△19.0	1,107	1.0	552	12.7
18年3月期第3四半期	18,076	6.3	501	33.9	1,096	20.7	490	△8.8
(参考)18年3月期	22,481		419		1,251		560	

	1 株 当 たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	42.95	—
18年3月期第3四半期	37.97	—
(参考)18年3月期	41.44	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加などから景気は緩やかな回復基調にあったものの、個人消費は本格的な回復には至らず力強さに欠けた状況で推移いたしました。

当家電流通業界におきましては、薄型テレビなど一部デジタル家電商品は堅調であったものの、天候不順等の影響により季節商品は苦戦を強いられました。一方、家電量販店においては、引き続き大型店の出店などによる企業間競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、オリジナル商品の開発強化をはじめ、家電流通業界の変革への迅速な対応に積極的に取り組んでまいりました。

平成 18 年 4 月 1 日付で大和無線電器(株)を連結子会社化する一方、同日付で当社の関東 5 事業所を統合し、併せて関東物流センターの本格稼働開始等、M&A、事業投資を積極的に進めるとともに業務の効率化も図ってまいりました。

この結果、当社グループの当第 3 四半期の連結売上高は265億 1 千 1 百万円(前年同期比46.7%増)となり、経常利益は11億 7 百万円(前年同期比1.0%増)、四半期純利益は、継続的な地価下落に伴い賃貸固定資産 1 件について減損損失として特別損失に 9 千 3 百万円計上したこと等により、5 億 5 千 2 百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	33,272	21,645	65.1	1,690.64
18年3月期第3四半期	27,790	21,717	78.1	1,681.76
(参考)18年3月期	25,145	21,910	87.1	1,695.26

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△2,088	499	1,919	4,551
18年3月期第3四半期	△289	△735	△395	4,018
(参考)18年3月期	633	△1,451	△399	4,220

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年第3四半期連結会計期間末に比べ5億3千3百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には45億5千1百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

営業活動の結果使用した資金は20億8千8百万円（前年は2億8千9百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が9億5千4百万円（前年同期比14.7%増）計上され、仕入債務の増加25億7千7百万円により資金が増加したものの、売上債権の増加45億1千9百万円、たな卸資産の増加10億3千万円により資金が減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果獲得した資金は4億9千9百万円（前年は7億3千5百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億1千5百万円、投資有価証券の取得による支出3億2千2百万円、関係会社株式の取得による支出2億5千8百万円があった一方で、投資有価証券償還による収入12億6千9百万円あったこと等によるものであります。

財務活動の結果獲得した資金は19億1千9百万円（前年は3億9千5百万円の使用）となりました。これは短期借入金の返済による支出23億5千万円、長期借入金の返済による支出1億8千2百万円、親会社による配当金の支払額4億5千万円、自己株式の取得による支出9千8百万円あった一方で、短期借入による収入が50億円あったことによるものであります。

○添付資料

- ・要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書、当四半期連結株主資本等変動計算書、四半期連結剰余金計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

通期の見通しについては、平成18年11月17日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I. 流動資産					
現金及び預金	4,587	4,054	533		4,310
受取手形及び売掛金	9,934	7,342	2,592		4,125
たな卸資産	2,132	1,215	917		696
そ の 他	733	1,594	△861		1,488
流動資産合計	17,387	14,206	3,181	22.4	10,620
II. 固定資産					
有形固定資産	3,278	3,412	△134	△3.9	3,633
建 物	614	353	261		619
土 地	2,548	2,955	△406		2,955
そ の 他	115	104	10		58
無形固定資産	381	10	370		10
投資その他の資産	12,225	10,160	2,064	20.3	10,880
投資有価証券	5,346	4,773	572		5,507
賃貸固定資産	3,045	2,339	705		2,328
長期預金	3,400	2,900	500		2,900
そ の 他	434	147	287		143
固定資産合計	15,884	13,584	2,300	16.9	14,524
資 産 合 計	33,272	27,790	5,481	19.7	25,145

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I. 流動負債					
支払手形及び買掛金	6,848	4,506	2,341		1,607
未払法人税等	192	135	56		82
そ の 他	3,297	344	2,952		260
流動負債合計	10,338	4,987	5,351	107.3	1,950
II. 固定負債					
退職給付引当金	169	90	79		71
役員退職慰労引当金	164	118	46		123
そ の 他	954	877	77		1,088
固定負債合計	1,288	1,086	202	18.6	1,284
負債合計	11,626	6,073	5,553	91.4	3,234
(資本の部)					
資 本 金	—	2,644	△2,644		2,644
資 本 剰 余 金	—	2,560	△2,560		2,560
利 益 剰 余 金	—	15,705	△15,705		15,775
その他有価証券評価差額金	—	993	△993		1,122
自 己 株 式	—	△187	187		△192
資 本 合 計	—	21,717	△21,717		21,910
負債・資本合計	—	27,790	△27,790		25,145
(純資産の部)					
I. 株主資本					
資 本 金	2,644	—	2,644		—
資 本 剰 余 金	2,560	—	2,560		—
利 益 剰 余 金	15,853	—	15,853		—
自 己 株 式	△291	—	△291		—
株 主 資 本 合 計	20,767	—	20,767		—
II. 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	878	—	878		—
評価・換算差額等合計	878	—	878		—
純 資 産 合 計	21,645	—	21,645		—
負債・純資産合計	33,272	—	33,272		—

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売上高	26,511	18,076	8,435	46.7	22,481
II. 売上原価	22,717	15,431	7,285	47.2	19,088
売上総利益	3,794	2,644	1,149	43.5	3,392
III. 販売費及び一般管理費	3,388	2,142	1,245	58.1	2,972
営業利益	406	501	△95	△19.0	419
IV. 営業外収益	911	717	194	27.1	1,026
受取利息及び受 取配当金	179	122	56		205
仕入割引	411	311	99		458
不動産賃貸収入	207	202	4		269
そ の 他	114	80	34		92
V. 営業外費用	210	122	87	71.5	194
売上割引	127	56	71		82
そ の 他	82	66	16		112
経常利益	1,107	1,096	11	1.0	1,251
VI. 特別利益	13	1	11	638.4	2
VII. 特別損失	167	266	△99	△37.3	267
税金等調整前四半 期(当期)純利益	954	831	122	14.7	986
法人税、住民税及 び事業税	401	341	60	17.7	280
法人税等調整額	—	—	—	—	145
四半期(当期)純利益	552	490	62	12.7	560

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 当四半期連結株主資本等変動計算書（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）  
（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	
平成18年3月31日残高	2,644	2,560	15,775	△192	20,788	1,122	21,910
四半期中の変動額							
剰余金の配当			△450		△450		△450
利益処分による役員賞与 (注1)			△25		△25		△25
四半期純利益			552		552		552
自己株式の取得				△98	△98		△98
株主資本以外の項目の四半 期中の変動額(純額)						△244	△244
四半期中の変動額合計	—	—	77	△98	△21	△244	△265
平成18年12月31日残高	2,644	2,560	15,853	△291	20,767	878	21,645

(注) 1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 四半期連結剰余金計算書 (単位：百万円)

	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		(参考) 平成18年3月期 第3四半期	
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		2,560		2,560
II 資本剰余金四半期末(期末)残高		2,560		2,560
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		15,627		15,627
II 利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	490	490	560	560
III 利益剰余金減少高				
配 当 金	387		387	
役 員 賞 与	25	412	25	412
IV 利益剰余金四半期末(期末)残高		15,705		15,775

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 5. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成 19 年 3 月 期第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月 期第 3 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	954	831	986
減価償却費	88	62	84
減損損失	93	218	218
賞与引当金の減少額	△48	△40	△19
退職給付引当金の減少額	△36	△81	△100
役員退職慰労引当金の減少額	△44	△32	△27
受取利息及び受取配当金	△179	△122	△205
売上債権の増加額	△4,519	△3,397	△179
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△1,030	△356	161
仕入債務の増減額 (減少：△)	2,577	2,752	△146
その他	272	83	△26
小 計	△1,874	△83	744
利息及び配当金の受取額	168	117	206
利息の支払額	△7	—	△0
法人税等の支払額	△375	△324	△316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,088	△289	633
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の取得による支出	△322	△218	△737
関係会社株式取得による支出	△258	—	—
その他の収入	2,031	1,016	1,104
その他の支出	△949	△1,533	△1,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	499	△735	△1,451
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	5,000	—	—
短期借入金の返済による支出	△2,350	—	—
長期借入金の返済による支出	△182	—	—
配当金の支払額	△450	△387	△387
自己株式の取得による支出	△98	△7	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,919	△395	△399
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	19	19
V. 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	330	△1,401	△1,198
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,220	5,419	5,419
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,551	4,018	4,220

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。